

平成20年8月29日

日本弁理士会 研修所

eラーニングコンテンツ制作にかかる業務委託について

下記17本のeラーニングコンテンツを発注いたします。内容をご確認の上、見積書をご提出ください。

記

【依頼内容】

- ◆ 講師への内容に関する確認。
(必要に応じて適宜、講師との打合せを行なう)
- ◆ 講師から提出された資料をパワーポイントに編集。
- ◆ 講義の収録。
(スタジオ及び機材等の費用を含む)
- ◆ その他eラーニングコンテンツの制作にあたっては、別添の「義務研修向け教材制作の概要」に従う。

【制作コンテンツ】

No.	課目名	講義時間	備考
1	方式実務	90分	
2	共有・共同	90分	
3	コンメンタール(特許法第36条第4項第1号)	30分	
4	コンメンタール(特許法第36条第6項第2号)	30分	
5	コンメンタール(特許法第102条)	30分	
6	遺伝子・アミノ酸の配列表の実務	90分	
7	微生物寄託の実務	90分	
8	「複数主体が発明を実施する場合の構成要件充足性の判断について」 眼鏡レンズの供給システム事件を例にして	90分	
9	コンメンタール(意3条2項)	30分	
10	著作物と商品化権	90分	
11	デジタル映画と著作権	90分	
12	EPC2000	90分	収録日は11/28。講師は外国人。 講師との打合せは不要。
13	アメリカ商標法—サウンドマークについて	90分	
14	仮想コンピュータ	90分	
15	最新の加工技術	90分	
16	新幹線を支える最新技術	90分	
17	iPS細胞について	90分	

【講師・日時・会場】

各コンテンツの講師は1名を予定。

各コンテンツの収録日時・会場については、決定次第、連絡する。

会場は、基本的に弁理士会館を予定している。

【納 期】

2008年12月26日（金）

【見積書提出期限】

2008年9月5日（金）午後5時（必着）

【見積書提出方法】

下記の担当者宛てに持参または郵送。

【担当】

〒100-0013

東京都千代田区霞が関三丁目4番2号 日本弁理士会 研修課

谷川・増川 TEL:03-3519-2360 FAX:03-3581-1205

以 上

日本弁理士会 研修課様

e-ラーニング教材テンプレートを使用した 義務研修向け教材制作の概要

平成19年9月7日
NTTアドバンステクノロジー株式会社
知的財産事業本部

1. はじめに

平成20年4月から日本弁理士会の会員向けに義務研修が開始されます。義務研修向けe-ラーニング制作ではその教材仕様(画面遷移や修了判定など)を実現するため、共通の教材テンプレートを使用します。

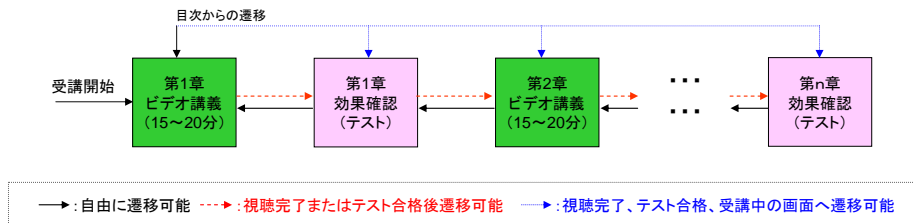
本資料では、教材テンプレートを使用した教材制作において必要な工数の積算を行うため、制作工程の概要を説明します。

なお、教材テンプレートは現在制作途中であり、本資料中で示す内容と最終的な提供物とは、多少仕様が異なる場合がありますので予めご了承ください。

2. 教材の構成

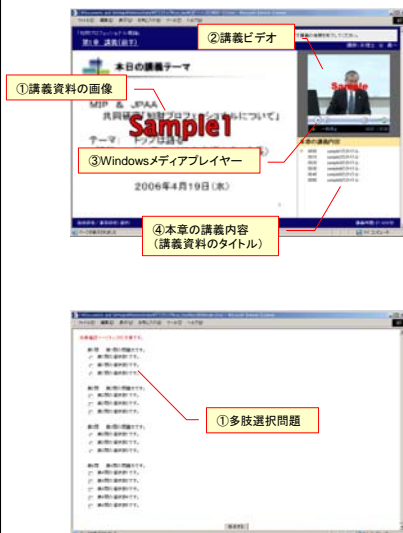
- ① 1教材あたりの総講義時間(テストは除く)は90分程度
- ② 研修画面はビデオ講義と効果確認(テスト)の2種類で構成
- ③ ビデオ講義(15分~20分程度)を視聴後、効果確認(テスト)を実施
- ④ 受講は最初のページから順番に行い、当該ページの修了条件を満たすと次ページへ遷移可能

画面遷移のイメージ



2

3. 学習画面の構成



(1) ビデオ講義画面

講義のビデオファイルを視聴する画面

- ① 講義資料(640×480pxの静止画)をビデオ映像に同期して表示。
- ② 講義のビデオファイルはWMV形式。1ファイル15~20分を目安。表示サイズ240×180px、ビットレート200kbps以下(動画、音声、オーバーヘッド含む)。
- ③ メディアファイルの再生にはWindows Media Playerを使用。
- ④ 当該画面の講義内容として、講義資料のタイトルを表示。

修了条件: 画面内の講義ビデオを最初から最後まで視聴

(2) 効果確認(テスト)画面

ビデオ講義を視聴した後、研修の習得度を測定するための効果確認(テスト)を行う画面

- ① 多肢選択問題、5~10問程度(各章)

修了条件: 所定の合格点(未定)を獲得

3

4. 教材テンプレートの内容

教材テンプレートが提供するもの

- ①教材全体のテンプレート
(教材のファイル構成、LMSとの通信機能、画面遷移機能、目次表示機能、ダウンロード用講義資料の表示機能)
- ②ビデオ講義画面のテンプレート
(画面の表示および動作、ビデオ講義の修了判定機能、LMSとの通信機能)
- ③効果確認画面のテンプレート
(画面の表示および動作、効果確認の修了判定機能、LMSとの通信機能)

※教材の基本機能はすべてテンプレートが提供します。教材制作に必要な作業は、素材の準備とテンプレートのパラメータ設定となります。(設定内容は別紙の各種設定シートを参照)

4

5. 制作作業工程①

e-ラーニング教材制作の作業工程は以下のとおりです。

1) 素材の準備

- ①ビデオ撮影
講義ビデオの撮影(講義と資料の同期時間を記録)
- ②ビデオ編集
講義ビデオを1画面(1ファイル)あたり15~20分を目安に分割
- ③ビデオエンコード
WMVファイルを作成(画面サイズ:240×180px、ビットレート200kpbs以下、ファイル名:任意)、Windowsメタファイル(WVXまたはASX)の作成
- ④講義資料の画像ファイル
講義資料から画像ファイルを作成(画像サイズ640×480px、ファイル形式:PNG、ファイル名:規則(未定)に従う)

5

5. 制作作業工程②

2) 教材テンプレートの使用

⑤ビデオ講義画面の制作(テンプレートのパラメータ設定)

テンプレートのJavaScriptファイルに画面毎のビデオと資料の同期時刻を設定
→ P.6 <参考1> を参照

⑥効果確認(テスト)画面の制作(テンプレートのパラメータ設定)

テンプレートのJavaScriptファイルに画面毎のテスト問題を設定
→ P.7 <参考2> を参照

⑦教材全体の設定(テンプレートのパラメータ設定)

テンプレートのJavaScriptファイルに各種パラメータ(教材目次、ダウンロード用講義資料名など)を設定
→ P.8 <参考3> を参照

⑧ファイルの配置

すべての素材ファイルを定義されたファイル構成に配置

⑨SCORM教材化

imsmanifest.xmlファイルをテキストエディタで編集

6

6. 納品物

内容:e-ラーニング教材に関する以下のデータ

1) e-ラーニング教材のファイル一式

- ①SCORM対応教材のZip圧縮ファイル
- ②Windows Media Videoファイル

2) テンプレートの各種設定ファイル

- ①ビデオ講義設定シート
- ②効果確認(テスト)設定シート
- ③教材情報設定シート

形態:CD-R等の記録メディア

7

<参考1>ビデオ講義画面のパラメータ設定

ビデオ講義画面の設定ファイル(vparam.js)のイメージ

```
metaName = "sample.asx";

st[0] = [ 0,      1,      "00:00", "sample1のタイトル" ];
st[1] = [ 10,     2,      "00:10", "sample2のタイトル" ];
st[2] = [ 20,     3,      "00:20", "sample3のタイトル" ];
st[3] = [ 25,     2,      "",      "" ];
st[4] = [ 30,     4,      "00:30", "sample4のタイトル" ];
st[5] = [ 35,     2,      "",      "" ];
st[6] = [ 40,     5,      "00:40", "sample5のタイトル" ];
st[7] = [ 45,     4,      "",      "" ];
st[8] = [ 50,     6,      "00:50", "sample6のタイトル" ];
st[9] = [ 55,     3,      "",      "" ];
st[10] = [ 70,    "",     "",     "" ];
```

① ② ③ ④

- ① 講義資料の切替時間(秒)
- ② 講義資料画像ファイルの番号(例: slide_1.png)
- ③④ 本章の講義内容欄に表示する内容(表示しない場合はnull)

※各画面毎に作成



講義資料の画像

本章の講義内容
(講義資料のタイトル)

8



「その先」の技術にまっすぐ。

Copyright© 2007 NTT Advanced Technology Corporation

<参考2>効果確認(テスト)画面のパラメータ設定

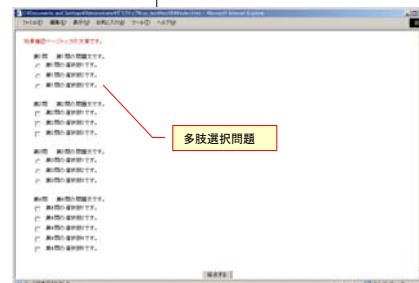
効果確認(テスト)画面の設定ファイル(tparam.js)のイメージ

```
Qnum[0] = 1; //問題番号
Qtext[0] = "第1問の問題文です。"; //問題文
Qtype[0] = 1; //回答形式(1:択一、2:複数選択)
Qslct[0][0] = "第1問の選択肢1です。"; //選択肢
Qslct[0][1] = "第1問の選択肢2です。";
Qslct[0][2] = "第1問の選択肢3です。";
Qcret[0] = [0]; //正解選択肢
Qscor[0] = 25; //点数
Qcmnt[0] = "第1問の解説文です。"; //解説文

Qnum[1] = 2;
Qtext[1] = "第2問の問題文です。";
Qtype[1] = 2;
Qslct[1][0] = "第2問の選択肢1です。";
Qslct[1][1] = "第2問の選択肢2です。";
Qslct[1][2] = "第2問の選択肢3です。";
Qcret[1] = [1,2];
Qscor[1] = 25;
Qcmnt[1] = "第2問の解説文です。";

Qnum[2] = 3;
...
```

※各画面毎に作成



多肢選択問題

9



「その先」の技術にまっすぐ。

Copyright© 2007 NTT Advanced Technology Corporation

<参考3>教材全体に関するパラメータ設定

教材目次の設定ファイル(iparam.js)のイメージ

```
courseTitle = "サンプル教材のタイトル(1時間30分00秒)";
```

```
indx[0] = [ 1,      1,      "特許出願の実務",    "19:10"];
indx[1] = [ 2,      1,      "効果確認(テスト)",    ""];
indx[2] = [ 3,      2,      "意匠出願の実務",    "17:30"];
indx[3] = [ 4,      2,      "効果確認(テスト)",    ""];
indx[4] = [ 5,      3,      "商標出願の実務",    "18:20"];
indx[5] = [ 6,      3,      "効果確認(テスト)",    ""];
indx[6] = [ 7,      4,      "質疑応答",        "12:40"];
```

①

②

③

- ① ページ番号
- ② 章番号(効果確認はnull)
- ③ ページタイトル

ダウンロード用講義資料の設定ファイル(dparam.js)のイメージ

```
dl[0] = [ "file1.pdf",    "特許出願の実務(PDFファイル)"];
dl[1] = [ "file2.pdf",    "商標出願の実務(PDFファイル)"];
dl[2] = [ "file3.doc",    "意匠出願の実務(Wordファイル)"];
dl[3] = [ "file4.ppt",    "参考:先使用権制度ガイドライン(PowerPointファイル)"];
```

④

⑤

- ④ ファイル名
- ⑤ 資料タイトル

10